

からの出場者はいないのだそうです。これは今回参加した女の子達が虫歯を作らずお母さんになって、虫歯のない子を育ててくれるのを待つしかありません。なんとか私の目の黒いうちに美唄から「母と子のよい歯のコンクール全道大会」に出場者をおくることができることを祈るばかりです。

(吉村裕美子記)

美 唄

美唄市よい歯のコンクール

6月4日(水)美唄市保健センターにおいて、平成15年度「よい歯のコンクール」が開催されました。昨年の3歳児健診でう蝕なしと診断された子供達のなかから39名が参加し宝崎会長、歯科衛生士2名と私で審査を行い、一次審査で9名に絞り、さらに最終審査をして最優秀賞1名、優秀賞3名を決定いたしました。う蝕なしでも歯列不正があったり、受診態度が悪かったりして(3歳児ですのでもしかたがないのですが)選考落ちし、涙を飲んだお母さん達には申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

しかし子供達の方が完璧でもお母さん達の方は処置歯なく歯並びも良くというかたは一人もおりませんでしたので、今年も美唄からは「母と子のよい歯のコンクール全道大会」には出場することはできませんでした。実は今だかつて一度も美唄

